

〈H14-6-A:問題〉

次の文は、地図投影について述べたものである。正しいものはどれか。次の中から選べ。

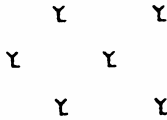
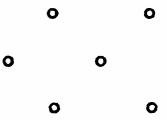
1. UTM 図法は、 $1/1,000,000 \sim 1/5,000,000$ の小縮尺地図にも適した図法である。
2. UTM 図法の縮尺係数は、中央経線上において 0.9996、中央経線から 120km 離れたところで 1.0000 である。
3. 我が国の平面直角座標系における座標値は、X 座標では座標原点より北側を「正 (+)」とし、Y 座標では座標原点より東側を「正 (+)」とする。
4. 我が国における平面直角座標系は、日本全国を 19 の区域に分けて定義されているが、その座標原点は全て赤道上有る。
5. メルカトル図法は、面積が正しく表現される正積円筒図法である。

〈H14-6-B:問題〉

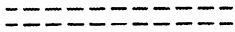
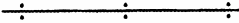
次の 1～5 の各表は、国土地理院発行の 1/25,000 地形図に表示されている記号（拡大）とその名称を対応させたものである。1～5 の中で、記号と名称が全て正しく対応しているものを選べ。

1	記号			
	名称	高等学校	保健所	警察署

2	記号			
	名称	記念碑	高塔	電波塔

3	記号			
	名称	畑	桑畑	茶畑

4	記号			
	名称	電子基準点	水準点	三角点

5	記号			
	名称	建設中の道路	輸送管	都府県界

〈H14-6-C:問題〉

図 6-1 は、国土地理院発行の 1/25,000 地形図の一部（原寸大、一部を改変）である。

図 6-1 の範囲を全て含むもう一枚の地図がある。その地図上で図 6-1 に表示されている A（標高 57.7m の三角点）と B（標高 37.1m の三角点）の図上距離を測定したところ、25.8cm であった。その地図の縮尺はいくらか。最も近いものを次の中から選べ。

1. 1/5,000
2. 1/10,000
3. 1/20,000
4. 1/40,000
5. 1/60,000



※縮尺は、正確に表示されない場合があります。

〈H14-6-D:問題〉

次の分は、地理情報を扱う際の代表的なデータ形式であるベクタデータとラスタデータの特徴について述べたものである。間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. ベクタデータは、点、線、面を表現できるが、いずれの場合でも属性を付加することができる。
2. ラスタデータは、位置や形状を一定の大きさの画素単位に配列して表すデータ形式である。
3. ラスタデータからベクタデータへ変換する場合、元のラスタデータ以上の位置精度は得られない。
4. 行政界のような線的情報を位相構造解析に利用する場合は、ラスタデータよりもベクタデータのほうが扱いやすい。
5. 衛星画像やスキャナを用いて取得した画像データは、一般にベクタデータである。